

化学品の名称: SUZUKI ECSTAR F9000 0W-16  
SDS 整理番号: -  
作成日: 2026-06-12  
改訂日: -

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	SUZUKI ECSTAR F9000 0W-16
製品コード	71302
供給者の会社名称	スズキ株式会社
住所	〒432-8611 静岡県浜松市中央区高塚町300
電話番号	053-440-2061
推奨用途	エンジンオイル
使用上の制限	この製品は専門家の助言なしに指定された目的以外に使用してはならない。
製造事業者等の情報	製造者： 会社名称：PETRONAS LUBRICANTS (INDIA) PVT. LTD. 住所：Plot no: E-1/2, Chavne Village, Addl. Patalganga MIDC, Rasayani, Panvel, Dt. Raigad - 410 220, Maharashtra. 電話番号：+(91) 2192-352700. 電子メールアドレス：info-regulation.eu@pli-petronas.com (english) 緊急連絡電話番号：+65-3158-1198(24h/7d)

## 2. 危険有害性の要約

### 化学品の GHS 分類

記載のない危険有害性は、区分に該当しない、或いは分類できない。

### GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル	無し
注意喚起語	無し
危険有害性情報	無し

### 注意書き

この製品は GHS 危険有害性分類がないが、安全上の観点から、次の注意事項に従うことをお勧めする。

- 【安全対策】 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
取扱い後は接触部位をよく洗うこと。
- 【応急措置】 気分が悪い時は、医療処置を受けること。
- 【保管】 施錠して保管すること。
- 【廃棄】 内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

化学品の名称: SUZUKI ECSTAR F9000 0W-16  
SDS 整理番号: -  
作成日: 2026-06-12  
改訂日: -

## 安全データシート

GHS 分類に関係しない又は GHS で扱われない他の危険有害性: 情報無し

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	CAS 番号	濃度又は 濃度範囲	官報公示整理番号
			化審法・安衛法
鉱油	64742-54-7	80.0-<90.0%	情報無し
デカ-1-エン重合物の水素添加反応生成物	68037-01-4	6.25-<10.0%	6-1109, 6-1470・ 9-2375, 9-3416
ア-ノニル-N-(ノニルフェニル)アニリン	36878-20-3	1.5-<2.0%	3-138, 3-301
二[アルキル(C=14~18)-2-ヒドロキシ安息香酸]のカルシウム塩	114959-46-5	0.5-<0.95%	3-1561
ベンゼンスルホン酸、メチル、モノC20-24分岐アルキル誘導体、カルシウム塩	非開示	0.3-<0.5%	非開示
備考:	労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含む。		

### 4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医療処置を受けること。
皮膚に付着した場合	気分が悪い時は、医療処置を受けること。
眼に入った場合	気分が悪い時は、医療処置を受けること。
飲み込んだ場合	気分が悪い時は、医療処置を受けること。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。
医師に対する特別な注意事項	症状に応じた治療を行う。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤	この製品には特別な火災リスクがない。火災の場合には、泡消火剤、二酸化炭素、粉末消火剤、水噴霧を使用する。
--------	------------------------------------------------------

## 安全データシート

使ってはならない消火剤	水。 高圧水流ジェットの使用を避ける。火災にさらされた表面を冷やすためだけにウォータージェットを使用する。
火災時の特有の危険有害性	火災は有害な化合物を生成することがある。 燃やすと濃い煙が発生する。 有害燃焼生成物：炭素の酸化物、硫黄、リン、窒素の化合物、不完全燃焼の生成物。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火水や希釈水の流出により環境汚染を引き起こさないように注意する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	適切な保護具を着用し、可能な限り風上から行う。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業者は適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、風上から作業する。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立ち入りを禁止する。
環境に対する注意事項	環境への放出を避けること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	安全にできるなら漏洩を止める。 漏出物をできるだけ回収すること。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	換気の良い区域で使用する。
安全取扱注意事項	眼、皮膚、衣類につけないこと。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 取扱い後は手および接触部位をよく洗うこと。
接触回避	「10. 安定性及び反応性」を参照。
保管	
安全な保管条件	換気の良い場所で保管すること。 施錠して保管すること。
安全な容器包装材料	情報無し

## 安全データシート

### 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度、濃度基準値、許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

管理濃度 情報無し

濃度基準値 情報無し

許容濃度

国内規定

鉱油 3 mg/m<sup>3</sup>

ACGIH

鉱油 TWA 5mg/m<sup>3</sup> (1) (A4)

生物学的許容値 情報無し

設備対策 局所排気装置の設置、設備の密閉化または全体換気を適正に行うことが望ましい。  
作業場所ではシャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

呼吸用保護具 通常使用時は不要。暴露基準値を超える場合は、承認された有機蒸気用フィルターを備えたフルフェース型呼吸用保護具を着用する。

手の保護具 適切な保護手袋を着用する(ネオプレン、ニトリル等)。

眼、顔面の保護具 油が飛び散る場合は、ケミカルゴーグル及びフェースシールドを着用する。

皮膚及び身体の保護具 適切な保護服を着用する(詳細については、CEN-EN 14605を参照)。

### 9. 物理的及び化学的性質

物理状態・色 黄色粘性液体

臭い 非該当

融点/凝固点 情報無し

沸点又は初留点及び沸点範囲 >300°C (572°F) (ASTM D2887)

可燃性 情報無し

爆発下限界及び爆発上限界/可燃 上限界: 情報無し;

限界 下限界: 情報無し

化学品の名称: SUZUKI ECSTAR F9000 0W-16  
SDS 整理番号: -  
作成日: 2026-06-12  
改訂日: -

## 安全データシート

引火点	230°C (446°F) (ASTM D92)
自然発火点	情報無し
分解温度	情報無し
pH	情報無し
動粘性率	6.1 cSt (100°C) (ASTM D445) 25.5 cSt (40°C) (ASTM D445)
溶解度	水に不溶
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	情報無し
蒸気圧	情報無し
密度及び/又は相対密度	0.842g/cm <sup>3</sup> (ASTM D4052)
相対ガス密度	情報無し
粒子特性	情報無し

### 10. 安定性及び反応性

反応性	混触危険物質に触れると反応するおそれがある。
化学的安定性	通常の場合では安定。
危険有害反応可能性	通常の場合下では危険な反応はない。
避けるべき条件	熱源から離して保管すること。いずれの場合も、製品を引火点以上の温度にさらさないようにする。
混触危険物質	強酸化剤、強酸、強塩基。
危険有害な分解生成物	炭素の酸化物、硫黄、リン、窒素の化合物及び硫化水素。

### 11. 有害性情報

急性毒性	
経口:	情報無し
経皮:	情報無し
吸入:	情報無し
皮膚腐食性/刺激性	情報無し
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	情報無し
呼吸器感作性	情報無し
皮膚感作性	情報無し

化学品の名称: SUZUKI ECSTAR F9000 0W-16  
SDS 整理番号: -  
作成日: 2026-06-12  
改訂日: -

## 安全データシート

生殖細胞変異原性	情報無し
発がん性	情報無し
生殖毒性	情報無し
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	情報無し
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	情報無し
誤えん有害性	情報無し

### 12. 環境影響情報

生態毒性	情報無し
残留性・分解性	情報無し
生物蓄積性	情報無し
土壌中の移動性	情報無し
オゾン層への有害性	情報無し

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装	容器は、内容物を完全に除去した後、リサイクルするか、国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。 容器及び包装等をリサイクルする場合は、ヒトの健康、安全及び環境への影響に十分配慮すること。

### 14. 輸送上の注意

国連番号	非該当
品名 (国連輸送名)	非該当
国連分類	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に

## 安全データシート

国内規制	う。 移動時にイエローカードの保持が必要である。 陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法等に該当する場合は、それぞれの該当法律に定める運送方法に従うこと。 海上輸送：船舶安全法に定めるところに従うこと。 航空輸送：航空法に定めるところに従うこと。
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 15. 適用法令

特定化学物質の環境 への排出量の把握等 及び管理の改善の促 進に関する法律（化管 法）	非該当
労働安全衛生法（安衛 法）	名称等を表示すべき危険物及び有害物 規則別表第2の581 鉱油（政令名称：鉱油（令和7年4月1日施行）） 名称等を通知すべき危険物及び有害物 規則別表第2の581 鉱油（政令名称：鉱油（令和7年4月1日施行））
毒物及び劇物取締法 （毒劇法）	非該当
水質汚濁防止法	政令第3条の4第3号 鉱油 油 政令第3条第4号 鉱油 生活環境項目
消防法	第四類引火性液体、第四石油類、指定数量 6000L、危険等級 III

### 16. その他の情報

参考文献	<ul style="list-style-type: none"><li>・ JIS Z 7252 : 2025</li><li>・ JIS Z 7253 : 2025</li><li>・ 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)</li><li>・ ACGIH</li><li>・ GHS 分類結果(NITE)</li></ul>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

声明：本 SDS は、現時点で入手出来る資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、情報の正確さを保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性がありうるため、取扱には細心の注意を払ってください。

## [会社情報]

販売者：(株)スズキ自販三重  
所在地：四日市市日永5丁目1番3号  
TEL:0593-46-1221